

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与する。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与する。

参加・体験事業

(1) 文芸作品募集事業 (補助金事業 予算額 1,000千円)

子どものための文芸コンクール「書こう！きみの物語」

小中学生を対象に童話、児童文学、小説、詩の創作作品を公募し、優秀作品に賞を授与するとともに、特に優秀な作品は朗読音声をつけてウェブサイトで公開する。

作品募集期間/2022年8月～9月 選考委員/名古屋地域で活動している文芸関係者

(2) 学生参加事業 (補助金事業 予算額 2,550千円)

NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2022

学生の文化芸術活動を応援するため、学生参加型の事業を企画する。令和4年度は、地元で活動する中高生ビッグバンドが多数出演する、ジャズを中心とした音楽イベントを開催。

日程/2022年8月6日(土)、7日(日) 会場/芸術創造センター

出演/Calmera(ゲスト)、山崎貴大、日本学校ジャズ教育協会(JAJE)中部支部所属の学生団体

(3) 子どもアートピア (補助金事業 予算額 9,375千円)

子ども向け参加体験イベントとして、令和3年度より3か年計画で実施。愛知芸術文化協会(ANET)との共催で、名古屋を中心に活動するアーティストや文化芸術団体による公演やワークショップを通じて、子どもたちが文化芸術に興味を持つきっかけをつくる。

日程/2022年12月17日(土)～18日(日) 会場/青少年文化センター等

共催/愛知芸術文化協会(ANET)

鑑賞事業

(1) なごや子どものための巡回劇場 (実行委員会形式) (負担金事業 予算額 9,000千円)

演劇、人形劇、音楽劇、管弦楽、バレエ等の公演を、子どもたちに身近な会場(文化小劇場など)で開催する。

公演回数/32公演

出演/名古屋フィルハーモニー交響楽団 はじめ7団体

(2) 市民のための芸術鑑賞会 (自主財源事業 予算額 10,995千円)

大規模ホールを会場に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催する。

1 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会

日程/2022年5月24日(火)〈1回〉 会場/日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

2 人形浄瑠璃「文楽」

日程/2022年10月7日(金)〈2回〉 会場/芸術創造センター

ほか1公演

(3) 市民半額鑑賞会 (自主財源事業 予算額1,400千円)

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供する。

年間に3回程度実施し、約4,000枚を提供。

友の会事業 (自主財源事業 予算額 10,633千円)

- 1 会員向けのコンサートや落語会を開催する。
- 2 催し物情報等を掲載した情報誌「友の会だより」を発行する。
- 3 事業団主催事業などの会員向け先行予約や割引を実施する。

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通じて、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与する。

(1) 総合舞台芸術公演 (補助金事業 予算額32,100千円)

名古屋市文化振興事業団2023年企画公演 ミュージカル「パジャマゲーム」

1954年の初演でトニー賞最優秀作品賞、2006年にはトニー賞リバイバル作品賞に輝いたブロードウェイの名作ミュージカル「パジャマゲーム」を制作・上演する。

日程／2023年2月17日(金)～19日(日)〈5回〉 会場／青少年文化センター

脚本／ジョージ・アボット、リチャード・ビッセル 作曲／リチャード・アドラー、ジュリー・ロス

上演台本・訳詞・演出：中原和樹、音楽監督・指揮：角田鋼亮

管弦楽／セントラル愛知交響楽団

出演者／オーディションで決定

(2) 企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展2023

(補助金事業 予算額 3,109千円)

企画者・美術家からのアイデアを一般公募し、コンペティションによる選考を経て、斬新な美術展を開催する。

日程／2023年1月6日(金)～15日(日) 会場／市民ギャラリー矢田

(3) 舞台芸術創造事業 (補助金事業 予算額3,387千円)

Special Dancers' Gifts「親愛なるMother Earth」

SDGsを通じて目指す「豊かで活力ある未来を創る」をテーマに、現代舞踊協会中部支部との協働による舞踊公演を開催する。

日程／2023年1月28日(土)～29日(日)〈4回〉 会場／千種文化小劇場

振付／石川雅実、石原弘恵・荻谷夏、こかちちかこ、夜久ゆかり

出演／現代舞踊協会中部支部所属の現代舞踊家

(4) 名古屋市民芸術祭2022 (補助金事業 予算額5,700千円)

総合的な芸術の祭典として、2022年10月～11月に名古屋市民芸術祭2022を開催する。

1 主催事業

①名古屋いけばな芸術展2022

日程／2022年10月25日(火)～10月30日(日) 会場／市民ギャラリー栄

②名古屋市民美術展

日程／2022年11月22日(火)～27日(日) 会場／市民ギャラリー栄

2 参加事業

コンペティションとして20公演参加

賞／名古屋市民芸術祭賞、名古屋市民芸術祭特別賞

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭 〈実行委員会形式〉
(負担金事業 予算額 20,710千円)

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭」(2022年10月22日(土)～11月13日(日))のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「芸どころ名古屋舞台」3公演と、まちなかで気軽に伝統芸能に触れていただく「芸どころまちなか披露」、さらに当事業の10周年を記念して拡充する「10周年事業」を実施する。

「芸どころ名古屋舞台」

- 1 能楽公演(仮)
日程/2022年11月3日(木・祝)〈1回〉 会場/名古屋能楽堂
- 2 古典と新作「話芸で紡ぐ茶のココロ」(仮)
日程/2022年11月6日(日)〈1回〉 会場/西文化小劇場
- 3 弦楽の調べ「和洋でめぐる御当地縁起」(仮)
日程/2022年11月12日(土)〈1回〉 会場/青少年文化センター

「芸どころまちなか披露」

辻狂言、ストリート歌舞伎、お座敷ライブなど20公演程度を実施。

日程/開催期間中

会場/まちなか(名古屋・栄など)、料亭、寺社など

「10周年事業」

プレイベントを開催するとともに、芸どころまちなか披露を拡充。

日程/2022年10月15日(土)～16日(日)および開催期間中

会場/公会堂、まちなか(名古屋・栄など)など

(6) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST 〈実行委員会形式〉
(負担金事業 予算額 1,653千円)

アーティストの活動支援とまちの賑わいづくりに貢献するため、オーディションを実施し、地下鉄駅や商業施設等で自由にパフォーマンスができるライセンスを発行する。

日程/通年 会場/市内19施設

認定アーティスト数/累計146組 ライセンス期間/1年

(7) イベント開催等支援事業 (自主財源事業 予算額 4,930千円)

1 イベント開催支援

イベントの開催を検討している主催者に、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場としての機会を創出する。

受注目標/13件程度

2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムを活用し、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを運営する。

販売枚数/40,000枚程度

3 文化芸術に関する相談窓口

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドに設ける。

相談件数/250件程度

(8) 名古屋市文化振興事業団芸術創造賞 (自主財源事業 予算額 808千円)

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後とも活躍が期待できる個人(団体)を選考し、第38回芸術創造賞を授与する。

授賞件数/2件

授賞式/2022年9月

(9) Nagoya チラシデザイン大賞 (自主財源事業 予算額 440千円)

市内で開催される公演や美術展の広報用チラシを対象にデザインコンテストを開催し、優れた作品のデザイナーを表彰するとともに、応募されたチラシを展示する。

対象/2022年度に開催される公演・美術展のチラシ

作品展示/2023年3月7日(火)～12日(日) 会場/市民ギャラリー矢田

(10) 名古屋市文化振興事業団演劇賞（自主財源事業 予算額 475千円）

名古屋女性演劇賞の授与

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏（劇団・夏蝶）のご遺族からの寄付金をもとに、故人の演劇分野の振興に対する情熱を後世に受け継ぐことを目的として、名古屋地域の演劇の振興に貢献のあった女性演劇関係者に名古屋女性演劇賞を授与する。

選考会／2023年2月 授賞件数／1件

授賞式／2023年3月

(11) 文化芸術関係者・団体活動支援事業（自主財源事業 予算額 5,198千円）

1 オリジナルミュージカル「きみのあした」の創作

令和2年度に制作したオリジナル応援ソング「きみのあした」をテーマに、オリジナルミュージカルを創作する。令和4年度は、上演台本の執筆及びミュージカルナンバーの作曲を行い、事業団設立40周年を迎える令和5年度の上演を目指す。若手アーティストをはじめ、多くの市民が参加できるミュージカルを創作し、事業団が一から創り上げた財産として長く活用していく。

上演台本／全国区で活躍する演出家に依頼予定。

作曲／「きみのあした」の作詞・作曲・歌唱を担当した藤田麻衣子氏を予定。

2 NAGOYA ヴォイシーノベルズ・キャビネット

令和2年度に開設した専用ウェブサイトを引き続き運用し、公募した短編小説や、著名な文学作品を配信する。作品には朗読による音声をつけ、視覚障がい者の方、聴覚障がい者の方など市民誰もが楽しめるコンテンツとして提供する。

作品／1,600字程度の公募短編小説と著名な文学作品。

朗読者／地元演劇関係者。

(12) 事業団アートマネージャー・ステップアップ事業（自主財源事業 予算額 3,756千円）

事業団アートマネージャーが部署を越えて文化芸術イベントを企画制作する。名古屋の文化芸術関係者と協働して、斬新な事業を企画し、成果を市民に提供する。

日程／2022年7月 会場／中川文化小劇場

(13) 文芸による名古屋の魅力推進事業〈実行委員会形式〉（負担金事業 1,000千円）

コトノハなごや

名古屋にまつわる写真から想起される短編文芸作品を広く募集し、優秀作品に賞を授与するとともにウェブサイトで開催する。あわせて、選考委員がオンライン上で受賞作品の講評や文芸の魅力を語る関連イベント「コトノハなごやサロン-online」を開催する。

作品募集期間／2022年8月～9月 選考委員／太田忠司、中村航、中村陽子

コトノハなごやサロン-online／2023年1月

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図る。

(1) 文化情報誌の発行（補助金事業 予算額 3,132千円）

「なごや文化情報」（12ページ）を発行し、名古屋地域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供する。

発行部数／8,000部

発行回数／4回（季刊）

(2) 文化情報ひろばの運営（補助金事業 予算額 6,019千円）

市内及び近郊で開催される公演や美術展のチラシの配架、ポスター掲出、CINEMAPORTでの映画情報の提供、文化芸術関係の図書の閲覧コーナーを設けるなど、ナディアパーク7F文化情報ひろばを運営する。

4 文化活動拠点づくりのための文化事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を生かした文化事業を行う。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館（中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和）、名古屋市民ギャラリー2館（栄・矢田）、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営を行う。

※守山文化小劇場は、2022年4月1日から3月31日まで天井脱落対策工事のため休館予定。

(2) 施設事業

上記の23施設において、約400事業を実施する予定。主な事業は下記の通り。

主な事業

1 0・1・2シアター

乳幼児（主に0～2歳児）の子を持つ保護者の方が、子どもと一緒に音楽やお芝居などの生の舞台芸術に触れて楽しんでいただく公演。

授乳室・おむつ替えベッド・ベビーカー置き場の設置や、チケットのウェブ予約・当日窓口精算（キャンセル可）などのサポートを実施。

会場／文化小劇場14館 公演数／17公演

2 名古屋能楽堂定例公演

伝統芸能の普及を目的として、(公社)能楽協会名古屋支部との共催により、年間テーマに沿った能楽公演を定期的開催する。

会場／名古屋能楽堂 公演数／6公演

3 劇場パートナー等の運営

各文化小劇場において、文化芸術活動の促進と地域コミュニティの形成による地域課題の解決を目的に、子どもから高齢者までが参加する様々なジャンルの実演団体を運営する。

中村文化小劇場

劇団 座・なかむら（演劇）

南文化小劇場

みなみシニア吹奏楽団（吹奏楽）

西文化小劇場

西文化小劇場オペラ合唱団（オペラ）

港文化小劇場

みんなとみなとコーラス（合唱）

天白文化小劇場

劇団 天白月夜（演劇）

名東文化小劇場

めいとうママ楽団オハナ（吹奏楽）、名東文化朗読舎（朗読）

守山文化小劇場

もりっこ彩合唱団（合唱）

北文化小劇場

The Polar Star Jazz Orchestra（音楽）

緑文化小劇場

劇団みどり（演劇）

千種文化小劇場

Chikusa Round Voices（ゴスペル）

中川文化小劇場

合唱団クローバー（合唱）

瑞穂文化小劇場

子どもオペラ劇団 瑞穂コペレッタ（オペラ）

昭和 culture 小劇場

子どもミュージカル劇場 show-Wa!（ミュージカル）、

名古屋昭和交響楽団（オーケストラ）

市民ギャラリー矢田

ギャラリー矢田 プラモデル部(仮)（プラモデル）

4 スマイルギフト

文化芸術の力を活用して地域の課題を解決することを目的として、ひとり親家庭など経済的支援を必要としている子どもたちを劇場に招待し、公演鑑賞の機会をプレゼントする。

会場／名古屋市芸術創造センター始め15施設

参加対象／ひとり親家庭の親子、支援施設の子どもたち

連携先／母子生活支援施設、児童養護施設、乳児院など